

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年7月26日

2005年7月24日概況：

7月24日に終わる1週間の気温は各地で90度以上を記録する高温気象となった。最低気温は40度後半から50度前半であり平均気温は略平年並みであったが、南部3地区では、平年を2~3度F平年を上回った。降雨はSC地区にて有り、1週間の地区平均降水量は2.15インチであった。NW地区が最も少なく0.01インチであった。土壌水分は“過剰”が減少し“適”が増えた。1週間の農作業稼働日数は6.1日（前週：6.2日）であった。

HRSは80%が乳熟期となった。そして全体の45%が登熟を開始した。Durum小麦は52%が乳熟期、18%が登熟期となった。HRS及びDurumとも昨年並びに5年平均より早い生殖成長をしている。

HRS及びDurum小麦の作柄は前週より多少評価が落ちた。1日の温度差が激しいことより、露の発生が多く病害の心配が大きいと報告された。

7月1日付けUSDA発表のHRS及びDurum小麦の生産量予想では、HRSの単位収量は昨年実績と同数の41.0 bu/acであり、Durumは昨年実績より1 bu/ac多い34.0 bu/acであった。播種期が早めであったこと、その後の出穂期までの天候が生育に適し降雨が全般に多かった事がプラス要因であった。

詳細は別表の通り。

土壌水分：2005年7月24日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	0	1	13	8
Short (%)	10	10	21	19
Adequate (%)	79	73	59	65
Surplus (%)	11	16	7	8
Subsoil				
Very short (%)	1	2	15	9
Short (%)	8	6	19	17
Adequate (%)	78	76	59	65
Surplus (%)	13	16	7	9

小麦生育状況：2005年7月24日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Boot (%)	96	89	85	93
Headed (%)	81	71	69	81
Milk (%)	52	32	41	44
Turning (%)	18	4	11	13
HRS Wheat				
Headed (%)	98	91	89	93

Milk (%)	80	58	62	70
Turning (%)	45	19	21	32

HRS 小麦の作柄：2005年7月24日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	2	5	20	57	16
Last Week (%)	0	3	17	62	18

Durum 小麦の作柄状況：2005年7月1日現在：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	1	13	63	23
Last Week (%)	0	1	9	63	27

Source: ND Agricultural Statistics Service

2005年7月1日付けUSDA生産量予想：

	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
HRS	5,950	6,600	41.0	-	41.0	243,950	270,600
State	13,174	13,637	43.2	-	43.2	568,918	588,740
Durum	1,600	1,700	33.0	-	34.0	52,800	57,800
State	2,363	2,453	38.0	-	38.4	89,893	94,075

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com